

一般社団法人 鳥取県作業療法士会

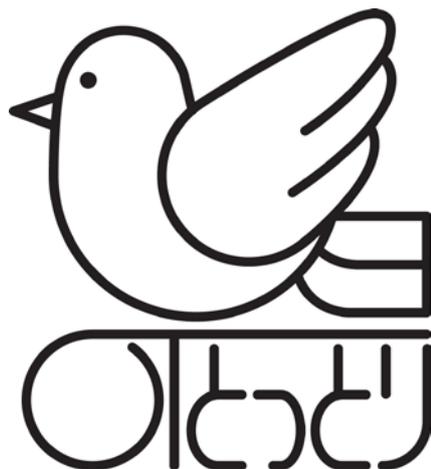
平成26年度 定時社員総会

議 案 書

期日：平成26年5月25日（日）10：00～12：00

会場：地域交流センター アゼリアホール

（倉吉市山根43 TEL0858-26-1088）



一般社団法人 鳥取県作業療法士会

事 務 局

〒683-0841 鳥取県米子市上後藤3-5-1

養和病院リハビリテーション課内

TEL 0859-29-5351

FAX 0859-29-7179

総 会 次 第

- 1. 開会のことば
- 2. 議長選出
- 3. 会長挨拶
- 4. 定足数報告
- 5. 書記任命
- 6. 決議事項
 - 第1号議案 平成25年度事業報告書承認の件
 - 第2号議案 平成25年度決算報告書承認及び監査報告の件
 - 第3号議案 休会規程承認の件
 - 第4号議案 その他
- 7. 報告事項
 - 平成26年度事業計画及び予算
- 8. その他
- 7. 議長解任
- 8. 閉会のことば

目 次	
総 会 次 第	1
決 議 事 項	
第1号議案	
平成25年度事業報告承認の件	2
事務局	2
渉外部	2
広報部	3
事業部	4
学術部	7
教育部	7
領域対策部	9
財務部	9
規約委員会	9
倫理委員会	10
総会議事運営委員会	10
法人設立準備委員会	10
その他	10
第2号議案	
平成25年度決算報告書承認及び監査報告の件	11
財産目録	11
貸借対照表	11
収支計算書	11
損益計算書	14
監査報告書	15
第3号議案	
休会規程承認の件	16
第4号議案	
その他	17
報 告 事 項	
平成26年度事業計画及び予算	
事務局	17
渉外部	18
広報部	18
事業部	18
学術部	19
教育部	19
領域対策部	20
財務部	20
規約委員会	21
倫理委員会	21
総会議事運営委員会	21
予算書	22

第1号議案 平成25年度事業報告書承認の件

平成25年度事業報告

◎ 事務局

1. 本部事務局

(1) 会議の開催

会議名	期 日	会 場	
定期総会	平成25年 5月12日(日)	米子ワシントンホテルプラザ	
理 事 会	第1回	平成25年 7月20日(土)	ル・サンテリオン
	第2回	平成25年 9月 7日(土)	ル・ソラリオン名和
	第3回	平成25年11月16日(土)	ル・ソラリオン名和
	第4回	平成26年 1月25日(土)	ル・ソラリオン名和
	第5回	平成26年 3月15日(土)	ル・ソラリオン名和

(2) 会員管理事務

① 会員の入退会管理(平成26年3月31日現在)

会 員 数(名)				異 動 届(件)			
一般	自宅	入会	退会	勤務先	転 出	転 入	アドレス
390名	10名	39名	5名	12件	7件	1件	15件

② 電子メール連絡網更新(名簿作成とメール配信を含む)

(3) 文書処理

	総 数	会 員	OT協会	他士会	鳥取県	県社協	その他
文書受取・保管	231件	2件	22件	120件	7件	14件	66件

(4) 作業療法士に関する全国組織との連携

① 日本作業療法士協会

- i. 定時社員総会：平成25年5月25日(土) 東京 鳥取県代議員：松本太蔵、土肥繁樹
- ii. 日本作業療法士協会・都道府県作業療法士会合同役職者研修会出席：
平成25年7月27日(土)、28日(日) 東京 会長：松本太蔵 中部理事：福井由香里
- iii. 会員情報システム整備の管理 中部地区副会長 松井香
- iv. 日本作業療法士協会の現況調査の入力・提出

② 都道府県作業療法士会連絡協議会

- i. 総会：平成25年6月27日(木) 大阪府 会長：松本太蔵

③ 災害リハビリテーションコーディネーター研修会

- i. 大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会災害リハビリテーション研修会
平成26年3月1日(土)、2日(日) 東京都 理事：佐野和代

(5) その他

岩手県・宮城県・福島県へ東日本大震災復興義捐金の振り込み

2. 東部支部

(1) 東部地区の会員管理事務

(2) 封筒作成：長3号 500枚、角2号1, 500枚

3. 中部支部

(1) 中部地区の会員管理事務

(2) 全域の会員管理事務：入退会管理、名簿作成、地区電子メール連絡網更新し、本部事務局へ提出

4. 西部事務局

(1) 西部地区の会員管理事務

◎ 渉外部

1. 関係機関との渉外、連絡、調整に関わること

(1) 鳥取県社会福祉協議会との協力・連絡・調整

①平成25年度介護専門研修事業 研修企画会議

平成25年7月26日(金)、平成26年3月6日(木) 中島 直(鳥取医療センター)

②介護研修 講師「高次脳機能について」

平成25年12月11日(水) 佐野 積(大山リハビリテーション病院)

(2)特別支援教育への協力

①会員、学校との連絡調整、実績集計

東部小学校2件 書字の苦手さ 谷口 弘(鳥取療育園)

中部小学校3件 書字、運動の苦手さ等 上田 理恵(中部療育園)

西部小学校、特別支援学校3件 自食、生活動作 来間 寿史(YMCA米子福祉専門学校)

②市、圏域の関係者が集う機会での啓発：実施せず

③その他

i. 「特別支援学校のセンター的機能充実事業」への協力要請への対応

ii. 県教育委員会特別支援教育界訪問

平成26年2月5日(水) 教育機関への会員協力状況と「特別支援学校のセンター的機能充実事業」への協力について：上田 理恵(中部療育園) 谷口 弘(鳥取療育園)

(3)日本作業療法士連盟

総会、研修会 平成26年2月9日(日) 大阪市 都道府県責任者 土肥 繁樹

(4)国民のための医療推進協議会鳥取集会

総会 平成25年12月26日(木) 鳥取市 会長 松本 太蔵

(5)他の関係機関との協力・連携・調整、及び依頼事業への対応

鳥取県あいサポート企業(団体)申請

2. 会員の外部協力調査

平成24年度後期(10月～3月)分調査、県士会ニュース79号にて報告

◎ 広報部

1. 士会ニュース発行(年4回)

発行号数	担当施設名
79号(6月発行)	鳥取大学医学部附属病院
80号(8月発行)	鹿野温泉病院
81号(11月発行)	野島病院
82号(2月発行)	皆生温泉病院

2. 広報資料の取り寄せ(日本作業療法士協会より)

ポスター	150部
オペラ17号	100部

3. 学校への啓発・広報活動

(1)資料配布

①高校への配布

配布先	実施時期	配布内容
各高校	7月	施設見学案内、ポスター等

②委員会・小学校・特別支援学校への配布(特別支援教育関係)

配布先	配布数	配布内容
教育委員会	23件	パンフレット、リーフレット
小学校	135件	
特別支援学校	9件	
合計	167件	

(2)施設見学

地域	実施日	人数	受け入れ施設名
東部	8月9日	3名	鳥取県立中央病院(坂尻信幸)
西部	8月9日	2名	済生会境港総合病院(森山智子)

合 計	—	5名	
-----	---	----	--

4. 一般への啓発・広報活動

(1)福祉機器展でのOTパンフレット等の配布:平成25年度10月4日・5日の2日間開催あるが配布なし。

(2)作業療法推進キャンペーン活動開催地 (大型スーパー)

- ①主 催：一般社団法人 日本作業療法士協会
- ②共 催：一般社団法人 鳥取県作業療法士会
- ③期 日：平成25年11月30日(土) 9:00～16:00
- ④会 場：イオンモール日吉津 西館 1階 メロディコート (島村楽器店前)
- ⑤内 容：
 - i. 創る一飾り箱作り
 - ii. 自助具作りー洗濯バサミで簡単自助具作り
 - iii. 自助具体験ー片手で出来る薬袋開け・ネクタイ結び体験
(生活の工夫と自助具体験)
 - iv. 体験するー白衣(ケーシー)を着て写真を撮ろう
 - v. 相談するーリハビリについて、進路について
 - vi. 作品展示
 - vii. DVD上映ーよなGO!GO! 体操(鳥取県米子市作業療法士振付)

⑥来場者：150名

⑦協力者：25名(士会22名、協会3名)

福井 由香里、前谷 達也、岩田 みゆき(ル・サンテリオン)
 早川 泰詞(山陰労災病院)
 小椋 善文(米子市長寿社会課)
 稲田 拓也、平尾 光、土肥 繁樹(渡辺病院)
 河田 修(野島病院)
 景山 直史、中村 昭彦、高平 洋和、高見 真奈美、
 大木 結加、小笹 仁美(皆生温泉病院)
 勝部 智子、岩田 由紀、河上 貴彦、兼藤 紗絵子、
 伊藤 友紀子(倉吉病院)
 松井 香(藤井政雄病院)
 土井 宣幸(はまかぜ)

5. 作業療法推進月間(8月)

(1)ポスターの配布

県内のOT在籍施設、市町村役場、OTが不在籍の病院・老健

(2)オペラ17号の配布

県内のOT不在籍の病院・老健

6. ホームページ管理・更新

新規掲載記事 239件

7. 日本作業療法士協会との連携

(1)Web会議：実務なし

(2)広報部事業状況の報告

8. その他

リーフレット作成(1,000枚印刷)

◎ 事業部

1. 第10回鳥取県作業療法学会

(1)期 日：平成25年10月6日(日)

(2)会 場：鳥取県福祉人材研修センター ホール

(3)主 題：日々を生きる大切さ ～ちよっぴりが加わると豊かになる～

(4)内 容：①特別講演 演題：「穏やかに笑っていたい～本人の思い・家族の思い～」
 講師：越 智 須美子 氏

②学術集会 演題発表12題

(5)参加者：183名（会員143名、会員外の作業療法士1名、一般38名、学生1名）

(6)役割：学会長 佐野和代（いなば幸朋苑）
実行委員長 大淵賢一（鳥取赤十字病院）
副実行委員長 三好由貴子（鳥取生協病院）
特別講演 稲田拓也（渡辺病院）
広報 岡田直子（尾崎病院）
演題 平木久美子（ウエルフェア北園渡辺病院）
学会誌・プログラム 山本台次（鳥取市立病院）
廣谷知美（やすらぎ）
会計 村上聡（まさたみの郷）
会場・機器 中島直（鳥取医療センター）
事業部 大淵賢一（鳥取赤十字病院）
当日スタッフ
接待：土肥繁樹、山本絵美（渡辺病院）
会場（設営）：井坂敬子（鳥取医療センター）
越川桐子、清水理恵子（尾崎病院）
（機器）：足立崇、村山大佑（鳥取医療センター）
中口倫子（尾崎病院）
演題：下石勝哉（鳥取生協病院）、
土橋亜紀（ウエルフェア北園渡辺病院）
駐車場：吉岡将太、澤美里、福田哲也、
鈴木彰孝（鳥取医療センター）
川下洋範、坂本彩（いなば幸朋苑）
受付：坂本有加（尾崎病院）
水口紘美、坂下由美子（渡辺病院）
下石勝哉、森下佑子（鳥取生協病院）
土橋亜紀（ウエルフェア北園渡辺病院）

(7)委員会：第1回 平成25年 2月27日（木）
第2回 平成25年 3月28日（木）
第3回 平成25年 4月18日（木）
第4回 平成25年 5月16日（木）
会場下見 平成25年 6月4日（火）
第5回 平成25年 6月20日（木）
第6回 平成25年 7月18日（木）
第7回 平成25年 8月22日（木）
第8回 平成25年 9月19日（木）
会場下見 平成25年 9月27日（金）
第9回 平成25年10月1日（火）
第10回 平成26年 3月7日（金）

2. 第11回鳥取県作業療法学会（平成26年度開催：担当は西部地区）

(1)学会長・実行委員長・副実行委員長の推薦

学会長：横野洋子（仁風荘）

実行委員長：土井宣幸（はまかぜ）

副実行委員長：足立直也（博愛病院）

3. 生活行為向上マネジメント研修会

(1)期日：平成26年2月9日（日）

(2)会場：養和病院リハビリテーションセンター 4階 大会議室

(3)内容：生活行為向上マネジメント

講師：竹内さをり氏 甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 理学療法学科 講師

①総論

- ②導入・事例紹介
- ③演習・グループワーク
- ④まとめ

(4)参加者：59名

(5)役割：実行委員

土井 宣幸（はまかぜ） 段 敬史（サンライズ名和） 鬼木 徳子（やわらぎ）
 竹下 祐矢（鹿野温泉病院） 山下 大輔（養和病院） 西尾 徹（サンライズ名和）
 國岡 京香（米子病院） 西村 亜実（はまなす）
 当日協力
 松本 太蔵（養和病院） 本村 優衣（養和病院）

4. 訪問リハビリテーション実務者研修会

(1)期 日：平成26年 3月1日（土）～2日（日）

(2)会 場：養和病院リハビリテーションセンター 4階 地域交流ホール

(3)内 容：3月1日

講演

「訪問リハにおけるリスク管理」 講師：木佐 俊郎 氏（出雲市民病院）

「訪問リハの現状」 講師：山口 勝也 氏（全国訪問リハ協会 理事）

3月2日

訪問リハを支える多職種との連携

「知っておきたい訪問リハに必要な栄養の知識」

講師：浅中 美幸 氏（鳥取短期大学生生活学科栄養学専攻 非常勤講師 医学博士）

「知っておきたい訪問リハに必要な住まいの知識」

講師：由田 浩司 氏（白鳥ケアサービス株式会社取締役 一級建築士
 福祉用具専門相談員）

「知っておきたい訪問リハに必要な薬の知識」

講師：都田 修史 氏（あすなろ調剤薬局 薬剤師）

(4)参加者：88名（内 作業療法士29名）

(5)役割：委 員：松本 太蔵（養和病院） 段 敬史（サンライズ名和）

当日協力：土井 宣幸（はまかぜ） 松井 美千代（サンライズひえづ）
 増原 世子（博愛病院）

5. 訪問リハ地域リーダー育成会議

(1)期 日：平成25年5月16日（木）・17日（金）

(2)会 場：東京都江東区青梅 タイム24ビル

(3)出席者：松 本 太 蔵（養和病院）

6. その他

(1)生活行為向上マネジメント全国推進会議

①期 日：平成25年8月17日（土）・18日（日）

②会 場：東京都江東区青梅 タイム24ビル

③出席者：土 井 宣 幸（はまかぜ） 推進委員
 鬼 木 徳 子（やわらぎ） 研究協力者
 竹 下 祐 矢（鹿野温泉病院） 研究協力者

(2)生活行為向上マネジメント研修会（小勉強会）

①第1回西部地区開催

i. 期 日：平成25年12月17日（火）

ii. 会 場：YMCA米子医療福祉専門学校

iii. 内 容：「生活行為向上マネジメントって何だ!？」

①生活行為向上マネジメントの概要 講師：馬 場 孝 氏（YMCA米子）

②各シートの具体的記入方法 講師：土 井 宣 幸 氏（はまかぜ）

③生活行為向上マネジメントの実際 講師：鬼 木 徳 子 氏（やわらぎ）

iv. 参加者：52名

②第1回東・中部地区開催

- i. 期 日：平成26年1月18日（土）
- ii. 会 場：ル・サンテリオン 会議室
- iii. 内 容：「生活行為向上マネジメントって何!？」
 - ①生活行為向上マネジメントの概要・各シートの具体的記入方法
講師：土 井 宣 幸 氏（はまかぜ）
 - ②生活行為向上マネジメントの実際
講師：竹 下 祐 矢 氏（鹿野温泉病院）
- iv. 参加者：31名

◎ 学術部

1. テーマ別勉強会実施

地区	テーマ名	登録者数(前年数)	実施回数(前年数)	勉強会活動費	登録割合(前年)
東部	全 般	55名(82名)	3回(8回)	10,000円	55名/(82名)
	精 神 科				
中部	中部合同	32名(29名)	6回(6回)	0円	45名/(40名)
	精 神 科	13名(11名)	6回(7回)	9,995円	
西部	作業を考える	31名(27名)	8回(9回)	9,000円	121名/(116名)
	C V A	34名(34名)	6回(6回)	0円	
	社会資源	23名(23名)	6回(6回)	0円	
	精 神 科	25名(24名)	7回(7回)	0円	
	治療演習	8名(8名)	6回(6回)	0円	
総計	—	221名(238名)	48回(55回)	28,995円	221名/(238名)

- 2. 県士会高額支援費事業
25年度は該当事業なし

◎ 教育部

1. 生涯教育制度に関する管理

(1)ホームページ「生涯教育制度について」更新

- 8.06 生涯教育制度—あなたの課題は？
- 4.01 基礎研修ポイント記録方法・手帳再発行・休止期間について
- 4.01 現職者共通研修について
- 4.01SIGについて
- 5.01 基礎研修ポイント申請書

(2)生涯教育履修状況の管理—生涯教育履修リスト更新—生涯教育履修リスト更新

県士会名簿更新時、基礎研修開催時、会員からの連絡時等に随時実行. 認定OT3名、
基礎研修修了者18名(3月31日)

(3)基礎研修ポイント管理・発行

- ①協会よりポイントシール受領・返却：5.28 残シール380枚返却・6.27 1,000枚受領
- ②士会裁量基礎研修ポイント集計・発行：3.31
- ③現職者選択研修会ポイント発行：11.23 参加32名 他士会2名 講師3名 70ポイント発行
- ④鳥取県作業療法学会ポイント発行：10.06 参加142名 発表12名 308ポイント発行
- ⑤基礎研修会（士会主催及び共催）ポイント発行：6件 304ポイント
- ⑥基礎研修ポイント申請の受付・発行：51件 436ポイント
(うち現職者共通研修修了確認：17件 340ポイント)

区分	名 称	開 催 期 日	P 発行数
共催	第 2 1 回リハビリテーション研究会 in Yonago	平成 25 年 4 月 13 日	1 2
主催認定	A D O C について【東部全般】	平成 25 年 7 月 28 日	5 4
共催	第 2 2 回リハビリテーション研究会 in Yonago	平成 25 年 9 月 14 日	申請制
主催認定	認知症について【東部全般】	平成 25 年 11 月 19 日	3 4

区分	名 称	開 催 期 日	P 発行数
主催	第 1 回生活行為向上マネジメント研修会 西部地区	平成 25 年 12 月 17 日	4 2
主催	第 1 回生活行為向上マネジメント研修会 東中部地区	平成 26 年 1 月 18 日	5 4
主催	生活行為向上マネージメント研修会	平成 26 年 2 月 9 日	1 0 8
主催	第 4 回鳥取県訪問リハビリテーション実務者研修会	平成 26 年 3 月 1・2 日	1 3 8

2. 生涯教育制度に関する開催

(1) 現職者共通研修会

期日と会場	区 分	テ ー マ	講 師	認定数
①前期 7 月 2 1 日(日) 鳥取医療センター	I	作業療法生涯教育概論	土肥 繁樹：渡辺病院	2 3
		職業倫理	長田 貴徳：尾崎病院	2 2
	III	保健・医療・福祉と地域支援	長谷川 徹：はまなす	2 2
		作業療法における協業・後輩育成	田住 秀之：YMCA	2 2
②後期 1 1 月 1 0 日(日) 養和病院	II	作業療法の可能性	早川 泰詞：山陰労災	2 3
		事例検討方法論	花倉 敏文：養和病院	2 3
	IV	日本と世界の作業療法の動向	来間 寿史：YMCA	2 2
		エビデンスと作業療法実践	松本 太蔵：養和病院	2 0

3. 生涯教育に関する研修会等の認定

(1) 現職者共通研修「事例報告」「事例検討」認定（テーマ別勉強会教育部員が「事例報告会認定申請」を行い、教育部長が受理・認定）

地区	テーマ名	件数（前年度）	認定者数（前年度）	
			事例報告	事例検討
東部	全 般	0（1）	0	0
中部	中部合同	1（1）	2	1
	精 神 科	3（0）	3	3
西部	作業を考える	0（1）	0	0
	C V A	6（6）	6	9
	社会資源	0（0）	0	0
	治療演習ADL分析	0（0）	0	0
	精 神 科	0（0）	0	0
計		1 0（9）	1 1（1 2）	1 3（1 2）

(2) 基礎研修会認定（テーマ別勉強会教育部員が申請を行い、教育部長が受理・土会主催認定）
2 件（1 - (3)表参照）

(3) S I G 等登録認定（S I G として認定を希望する団体を会員が申請し教育部長が受理・認定）
なし

4. 日本作業療法士協会の生涯教育制度推進担当者

(1) 生涯教育制度推進委員会（平成 2 5 年度第 2 回生涯教育制度推進担当者会議）への出席

① 期日：平成 2 5 年 1 0 月 5 日（土）

② 会場：ハロー会議室秋葉原Ⅱ（東京都）

5. 会員への情報伝達

(1) 県士会ニュースへの掲載

6 月「前期現職者共通研修会（I・III）のご案内」

8 月「後期現職者共通研修会（II・IV）のご案内」

(2)ホームページへの掲載

6.06 前期現職者共通研修会／8.21 山口現職者選択研修会案内、後期現職者共通研修会／9.27 岡山現職者選択研修会案内／10.18 第22回リハ研ポイント取得について 追加訂正／10.23 専門作業療法士取得研修／12.20 広島現職者選択研修会案内

(3)メール配信（特定会員向け）

2件（問い合わせへの回答）

6. 他部との連携・協力

(1)学術部：テーマ別勉強会、基礎研修会、ポイント発行

(2)事業部：現職者選択研修会、鳥取県作業療法学会、生活行為向上マネジメント研修会

(3)事務局：会員管理事務：会員名簿確認・連絡を随時実行

◎ 領域対策部

1. 現職者選択研修（精神障害領域）

(1)期 日：平成25年11月23日（土） 9：00～16：40

(2)会 場：特定医療法人 養和会 養和病院 リハビリ棟 4階 大会議室

(3)内 容：

テーマ1：精神障害作業療法の基礎知識	田 住 秀 之：YMCA米子医療福祉専門学校
テーマ2：精神障害作業療法の展開方法	小 林 正 義：信州大学
テーマ3：精神障害作業療法の実践	花 倉 敏 文：養和病院
テーマ4：精神障害作業療法関連のトピックス	小 林 正 義：信州大学

(4)参加者：32名（県内30名 県外2名）

2. 情報配信

(1)配信回数

49件（平成25年4月～平成26年3月28日）

◎ 財務部

1. 会費徴収について

(1)会費徴収

①納入者数：395名

②未納者数： 7名

③徴収率： 98%

(2)未納者への督促

①ホームページや県士会ニュースへ未納者の会員番号（OT協会）を掲載

②平成25年10月に会費未納者に対して電話連絡を実施

③平成26年1月末に会費未納者に対して督促状と振込用紙の送付を実施

2. ボランティア保険加入手続き

407名の加入

3. 予算事務に関する特記事項

(1)～(12)については計上した予算は決算書のとおり執行した

◎ 規約委員会

1. 委員長及び委員の選出

委員長：土 井 宣 幸（はまかぜ）

委 員：廣 江 理 沙（博愛病院）

山 下 大 輔（養和病院）

土 肥 繁 樹（渡辺病院）

2. 業務

(1)休会制度再開に関しての休会規程（案）作成

(2)平成26年度から会費5,000円への変更に伴う施行規則の改定（案）作成

3. 委員会

平成25年11月16日(土) ル・ソラリオン名和
平成26年 1月、2月 メール委員会を3回開催

◎ 倫理委員会

1. 現職者共通研修会「職業倫理」の講演
期日：平成25年7月21日(日) 11:10～12:40
会場：鳥取医療センター
講師：長田貴徳
2. 相談への対応一般社団法人作業療法士協会との連携
相談件数：0件
3. 一般社団法人日本作業療法士協会との連携
連携事項なし

◎ 総会議事運営委員会

1. 委員長及び委員の選出
委員長：松井 香(藤井政雄記念病院)
委員：福井 由香里(ル・サンテリオン)
山本 由紀(清水病院)
2. 定時社員総会の運営
(1)期日：平成25年5月12日(日)
(2)会場：米子ワシントンホテルプラザ
3. その他
(1)報告会の開催
①期日：平成25年5月12日(日)
②会場：米子ワシントンホテルプラザ
③内容：平成24年度 鳥取県作業療法士会 事業報告、決算報告、及び監査報告

◎ 法人設立準備委員会

1. 委員会開催
平成25年4月20日(土)
平成25年7月13日(土) この回の委員会をもって解散
2. 業務
(1)法務局への登記手続き
①申請日：平成25年4月1日(月)
②申請者：松本太蔵(会長)、長田貴徳(東部地区副会長)
- (2)役所、税務署への手続きに関する書類準備及び申請
①申請日：平成25年4月25日(木)平成25年5月10日(金)
②申請者：土井宣幸(西部地区副会長)、廣江理沙(財務部長)
③申請場所：税部局・市役所・県税事務所
- (3)法人設立における行事の運営と開催
①期日：平成25年5月12日(日)
②会場：米子ワシントンホテルプラザ
③内容：記念講演 「作業が人を元気にする ～これからの作業療法のあり方～」
講師 中村春基氏(日本作業療法士協会会長)
記念式典
祝賀会
④参加者：62名(会員56名、来賓6名)

◎ その他

第2号議案 平成25年度決算報告書承認及び監査報告の件

財産目録

平成26年3月31日現在

(単位:円)

科目		金額		
資産の部	1.流動資産			1,171,925
	1)現金		121,980	121,980
	2)普通預金	鳥取銀行三柳支店 303931(財務)	732,865	
	普通預金	" 三柳支店 303940(事務局)	80	
	普通預金	" 三柳支店 303950(事業)	0	
	普通預金	" 三柳支店 303978(領域対策)	0	
	普通預金	" 三柳支店 303987(広報)	0	
	郵便振替	ゆうちょ銀行	317,000	1,049,945
	3)立替金		0	0
	2.固定資産			200,000
(1)特定資産				
1)啓発グッズ等積立預金	ゆうちょ銀行	200,000	200,000	
資産合計				1,371,925
債の部	I.流動負債			4,000
	1)前受金	正会員会費 H26 1件	4,000	4,000
	負債合計			4,000
正味財産				1,367,925

鳥取県作業療法士会

貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位 円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	1,171,925	【流動負債】	4,000
現金・預金	1,171,925	前受金	4,000
立替金	0	負債合計	4,000
【固定資産】	200,000	純資産の部	
(特定資産)	(200,000)	【剰余金】	1,367,925
啓発グッズ積立預金	200,000	啓発グッズ積立金	200,000
		繰越利益剰余金	1,167,925
		純資産合計	1,167,925
資産合計	1,371,925	負債・純資産合計	1,371,925

収支計算書

大科目	勘定科目			小科目	金額	決算額	差額	備考
	予算額	決算額	差額					
I 事業活動収支の部								
1.事業活動収入								
会費収入	1,476,000	1,580,000	△ 104,000	年会費	1,476,000	1,580,000	△ 104,000	4,000円×395名
研修会収入	560,000	570,100	△ 8,500	第10回県学会	340,000	286,000	54,000	2,000円×143名
				現職者共通研修	80,000	88,500	△ 8,500	1,000円×44名、1,000円×42名、500円×1名、500円×4名
				現職者選択研修	80,000	68,000	12,000	2,000円×30名、4,000円×2名
				生活行為向上	60,000	118,000	△ 58,000	2,000円×59名
				東部地区全般勉強会	0	9,600	△ 9,600	600円×16名
補助金等の収入	2,311,000	2,208,342	102,658	活動費	20,000	20,000	0	日本作業療法士協会
				助成金	0	0	0	
				賛助費	0	0	0	
				法人設立式典	270,000	168,000	102,000	会費 3,000円×56名
雑収入	658	45,123	△ 44,465	移譲金	2,020,342	2,020,342	0	鳥取県作業療法士会純資産 2,020,342円
事業活動収入合計(A)	4,347,000	4,403,565	△ 56,565	雑収入	658	45,123	△ 44,465	預金利息123円、設立記念式典祝い金45,000円

事務局	当初予算額	第2次 補正予算額	決算額	差額	中項目	第2次 補正予算額	決算額	差額	小項目	第2次 補正予算額	決算額	差額	備考
	471,000	500,800	395,970	104,830		82,220	60,855	21,565		29,720	12,480	17,240	
					事務用品費				事務用品費				会長名刺印刷費3,500円、倉庫4,980円、コンテナー420円、 ファイル388円+882円+105円+105円、コピー用紙2,000円+100円
					通信費				通信費				振り込み手数料等
					封筒作成費				封筒作成費				525 角2封筒1,500枚 長封筒500枚
					会場費	6,500	4,714	1,786	会場費	6,500	4,714	1,786	理事会5回 施設利用費(994円+1,474円+1,286円+960円) 理事会 東部3、中部4、西部11 76,700円(16,700円+13,000円+14,000円+14,500円+18,500円)
					役務費	287,080	213,205	73,875	旅費	287,080	213,205	73,875	日本作業療法士協会金 10,000円(自当5,000円×2名) 日作協研修費(東京2日間) 73,065円(1名10,000円、1名63,065円) 都道府県作業療法士会連絡会金総会、大阪23,640円 山口県作業療法士会 設立三十周年記念祝典29,800円(移動、Jr往復2,480円 日当5,000円)
					需用費	5,000	2,168	2,832	茶菓子代	5,000	2,168	2,832	理事会5回3,352円(1,352円+816円)
					負担金	20,000	20,000	0	年会費	20,000	20,000	0	都道府県作業療法士会連絡会
					慶弔費	100,000	95,228	4,772	義援金	90,000	90,000	0	0)若手県、宮城県、福島県の3県に各30,000円
									慶弔費	10,000	5,228	4,772	電報(祝電)2,016円、1,921円、1,291円
									事務用品費	1,000	346	654	資料ファイル4冊
									通信費	1,000	0	1,000	
									旅費	11,400	0	11,400	
									食糧費	5,600	0	5,600	
									茶菓子	2,000	0	2,000	
									事務用品費	2,000	105	1,895	ファイル105円
									通信費	1,000	0	1,000	
									事業費	6,000	5,775	225	農業検理に関する書籍購入費 2冊(2940円+2835円)計5775円
									事務用品費	1,250	525	725	ファイル2つ、事務用品(テープ、スタンプ、ホックキス)
									通信費	1,000	0	1,000	
									会場費	57,750	0	57,750	
									事務用品費	1,300	0	1,300	
									通信費	1,000	820	180	定款郵送料410円×2
									印章作成費	91,400	0	91,400	
									登記免許料	60,000	0	60,000	
									法人登記簿原本代	2,100	1,800	300	登記簿本600円×3
									印鑑証明書代	500	450	50	
									法人県民税	21,000	0	21,000	
									法人市民税	50,000	0	50,000	
									旅費	34,300	27,300	7,000	23,800円(10,900円 1,000円 10,900円) 登記申請交通費3,500円(西部⇨東部1名3,000円、東部1名500円)
									食糧費	8,400	5,400	3,000	
									茶菓子代	5,000	4,519	481	1,494 937 1,176 912
									講師等費	44,160	43,290	870	報償費 18,000 講師旅費 25,290
									会場費	108,450	102,101	6,349	46,200 9,240 5,250 10,500 8,400 18,900 3,611
									記念品費	81,000	80,325	675	記念品49,000(98×500個) 印刷代21,000 版代6,500 消費税3,825
									需用費	607,900	368,431	239,469	式典飲食 311,536(63名分) 委員昼食 10,237 茶菓子代 3,773 239,469 乾杯用飲物(シャンパン)36,960(4,620×8) 式典用印刷(胸章)5,925
									印刷製本費	20,000	31,424	△ 11,424	式次第印刷代19,000 案内状印刷代9,400 案内状同封書336 式次第印刷用紙688
									事務費	20,000	5,015	14,985	式次第印刷案内状印刷振込手数料各525 記念品費振込手数料630 招待案内状送料700 写真代2,530 消耗品(のり)105
									役務費	27,000	26,000	1,000	
									予備費	61,490	0	61,490	
									事務用品費	1,420	105	1,315	ファイル
									通信費	1,000	500	500	300テレホンカード
									研修会費	3,000	3,000	0	日本作業療法士連盟総会・研修会 鳥取⇨大阪、18,800円(旅費13,800円 日当5,000円)
									役務費	30,580	34,800	△ 4,220	県教育委員会訪問500円 養成校関連12,500円(3,000円×3 500円×4 500円×3) 鳥取県国民医療推進協議会総会 3,000円
									研修会費	3,000	3,000	0	0)日本作業療法士連盟研修会費
									事務用品費	67,000	51,799	15,201	ファイル
									通信費	64,000	51,589	12,411	ニュース送料50,009円、資料取り寄せ費1,160円 振込手数料210円×2
									印刷費	149,000	138,390	10,610	ニュース印刷費 9,400 リーフレット作成費
									管理費	48,000	47,229	771	
									作成費	11,000	0	11,000	
									役務費	14,400	12,420	1,980	啓発キャンペーン 12,420円(日当5,000円、打ち合わせ交通費4名分4,000円・ 当日スタッフ交通費14名分3,420円)
									需用費	5,600	7,546	△ 1,946	啓発キャンペーンスタッフ16名分当り7,546円
									事務用品費	2,700	0	2,700	
									通信費	1,000	0	1,000	
									講師費	109,900	108,310	1,590	特別講演 報償費 60,000円 旅費 39,310円 (30,610円、8,700円) 学術集会 旅費 8,000円 (3,000円×3)
									会場費	70,000	26,969	43,031	会場費 7,780円 会場関連費 19,189円
									印刷製本運搬費	200,000	147,220	52,780	プログラム20,720円(印刷代20,300円、産長への郵送料420円(140円×3)) 字巻誌126,500円(印刷製本112,000円、 運搬14,500円(1冊43,320円、開立図書館90円、講師90円))
									会議費	5,000	5,000	0	0)会議費 5,000円(講師懇話会費)
									事務費	53,500	53,582	△ 82	事務費 11,887円
									通信費	41,685	0	41,685	(講師依頼160円、講師お礼1,060円、講演案内 40,160円 振込手数料315円)
									役員費	43,000	0	43,000	500円×3名×9回、500円×1名×7回、500円×1名×1回、 担当旅費 10,000円(500円×20名)
									需用費	52,200	40,252	11,948	講師等用茶菓子 7,420円 (控室用 2,420円、5,000円) 講師・産長昼食 4,000円 (1,000円×4名 講師1、産長3) 役員3名昼食 3,000円 (1,000円×3名 会長、学会長、実長) 委員・担当昼食 14,000円 (弁当500円×28名) 当日昼食お茶代 3,065円 茶代・茶菓子代 1,767円 委員前日夕食 7,000円 (700円×10名)
									予備費	4,400	0	4,400	
									役務費	2,000	2,000	0	0)委員交通費 2,000円(500円×1回×4名)
									講師費	127,240	59,600	67,640	報償費 50,000円 旅費 9,600円
									会場費	30,000	22,300	7,700	会場費 22,300円
									印刷製本費	5,000	4,348	652	コピー代
									会議費	5,000	5,000	0	0)会議費5,000円(講師懇話会)
									事務費	1,000	458	542	事務用品費288円、通信費160円
									役務費	50,000	42,500	7,500	旅費12,500円(500円×3回×1名、500円×2回×3名、500円×1回×4名、 3000円×2回×1名) 日当30,000円(5,000円×2日×3名)
									需用費	13,200	10,999	2,201	講師昼食 1,000円 役員昼食 2,000円(1,000円×2名) 委員昼食 4,900円(700円×6名) 委員夕食 2,800円(700円×4名) 茶菓子代 999円
									予備費	8,560	0	8,560	
									旅費	93,300	50,840	42,460	交通費、宿泊費、日当 東京⇨倉吉
									負担金	80,000	80,000	0	0)訪問リハビリテーション地域振興会

学術部	132,000	132,000	38,495	93,505	事務用品費	2,000	0	2,000	1,000	0	1,000		
					通信費				1,000	0	1,000		
					勉強会活動費	80,000	38,495	41,505	勉強会活動費	80,000	38,495	41,505	西部作業を考える会3,000円 中部精神勉強会9,995円 東部全館勉強会19,500円
					研修会支援費	50,000	0	50,000	研修会支援費	50,000	0	50,000	
教育部	220,000	220,000	138,128	81,872	事務用品費	15,300	2,478	12,822	3,825	1,318	2,507	事務用ファイル	
					通信運搬費				11,475	1,160	10,315	振込み料金 210円×4、メール代320円	
					講師費	156,200	122,700	33,500	報償費	138,000	108,000	30,000	現職者共通研修講師48,000円(6,000×8名) 事例報告指導60,000円(6,000×10名) 現職者共通研修 9,000円(3,000円×2名 500円×6名) 事例報告 6,700円(500円×9名 1,200円×1名)
					会場費	40,000	10,750	29,250	会場費	40,000	10,750	29,250	現職者共通研修 前期5,500円、後期5,250円
					役務費	8,500	2,200	6,300	旅費	8,500	2,200	6,300	現職者1,200円、現職西部1,000円、県学会0円
領域対策部	223,000	223,000	150,484	72,516	事務用品費	2,000	210	1,790	1,000	210	790	ファイル×2	
					通信費				1,000	0	1,000		
					講師費				139,120	91,560	47,560	報償費48,000円(小林先生 36,000円 花倉先生・田住先生 6,000×2= 12,000円) 旅費43,560円(小林先生 水子ル代 7,200円、交通費 36,360円) 花倉先生・田住先生 500×2= 1,000円)	
					会場費				20,000	10,800	9,200	会場費	
					印刷製本費				5,000	875	4,125		
					会議費				5,000	4,000	1,000	講師懇談会費	
					事務費				1,000	408	592		
					役務費				20,000	19,500	500	3,000円 4,000円 3,500円 4,500円 4,500円	
					需用費				27,600	23,131	4,469	講師昼食 3,267円(1,000円×3=3,000円 89円×3=267円) 役員昼食 2,178円(1,000円×2=2,000円 89円×2=178円) 委員昼食 4,632円(480円×8=3,920円 89円×8=712円) 前日夕食 6,300円(700円×9)	
					予備費				3,280	0	3,280	講師茶菓子・飲み物 1,954円 4,800円	
財務部	502,000	533,500	386,620	146,880	事務用品費	20,000	10,522	9,478	5,000	2,582	2,418	ファイル188円、重単2,079円、のり105円、クリップ105円、クリアファイル105円	
					通信費				10,000	3,380	6,620	切手代2,980円、会計ソフト振込手数料420円	
					利用料				5,000	4,560	440	会計ソフト年間利用料4,560円	
					役務費	47,000	26,000	21,000	旅費	47,000	26,000	21,000	予算編成会議 3,000円×1名 1,500円×2名 500円×10名、総会費受付500円×4名、口座開設500円×2名、財務部業務500円×2名×3回、県学会会費受3,000円×3名
					需用費	10,500	6,408	4,092	食糧費	10,500	6,408	4,092	予算編成会議 弁当代6,240円お茶代168円
					相談費	120,000	18,000	102,000	相談料	120,000	18,000	102,000	
事業活動支出計(B)	4,142,000	4,251,300	3,035,640	1,215,660	保険費	336,000	325,690	10,310	336,000	325,690	10,310	800円×407名 手数料300円×3回	
					事業活動収支差額(C)=(A)-(B)	205,000	95,700	1,367,925	△ 1,272,225				

(単位:円)

勘定科目	予算額	決算額	差額	小科目	備考
中 科 目					
Ⅱ 投資活動収支の部					
1.投資活動収入					
啓発グッズ等積立預金取崩収入	0	0	0		
投資活動収入計(D)	0	0	0		
2.投資活動支出					
啓発グッズ等積立預金取得支出	200,000	200,000	0		郵便振替預金内にて管理
投資活動支出計(E)	200,000	200,000	0		
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	△ 200,000	△ 200,000	0		
Ⅲ 予備費支出(G)	5,000	0	5,000		
当期収支差額(H)=(C)+(F)-(G)	0	1,167,925	△ 1,167,925		
前期繰越収支差額(I)	0	0	0		
次期繰越収支差額(J)=(H)+(I)	0	1,167,925	△ 1,167,925		

損益計算書

自 平成25年4月1日
至 平成26年3月31日

(単位 円)

科目	金額	
【売上嵩】		
会費収入	1,580,000	
補助金収入	233,000	
研修会収入	570,100	2,383,100
売上総利益金額		2,383,100
【販売費及び一般管理費】		
外注費	80,325	
旅費交通費	664,076	
通信費	166,678	
交際費	5,228	
寄付金	90,000	
会議費	737,086	
講師謝金	274,773	
印刷製本費	279,665	
保険料	325,690	
消耗品費	8,455	
租税公課	94,712	
事務用品費	165,902	
支払手数料	20,259	
諸会費	100,000	
新聞図書費	11,655	
雑費	11,136	3,035,640
営業損失金額		652,540
【営業外収益】		
受取利息		123
経常損失金額		652,417
税引前当期純損失金額		652,417
当期純損失金額		652,417

監査報告書

平成26年 4月26日

一般社団法人 鳥取県作業療法士会
会 長 松 本 太 蔵 様

一般社団法人 鳥取県作業療法士会
監 事 早 川 泰 詞
監 事 土 肥 繁 樹



私たち監事は、平成25年度における鳥取県作業療法士会の事業を監査したので、その結果について次のとおり報告いたします。

I. 監査方法の概要

平成25年度に開催された理事会に出席し、事業の報告を聴取しました。また、平成25年度事業報告書、事業報告の附属明細書、貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）、貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書、収支計算書を閲覧するとともに、執行状況を聴取するなど、必要な監査手続きを実施しました。

II. 監査の結果

1. 事業報告等の監査結果

(1)事業報告及びその附属明細書は、法令および定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

(2)業務の執行においても法令および定款に従い、正しく遂行しているものと認めます。

2. 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類およびその附属明細書は、法人の状況を適正に表示しているものと認めます。

III. 監事の意見

現在の作業療法士の需要状況や今後の一層の高齢化社会を見据えると作業療法士の役割は益々重要になります。このことに伴い、法人の担う役割もさらに多岐に渡るとともに増加するものと思われまます。このような状況下では、法人より各会員に向けて情報発信することが重大になりますので、一層の丁寧で適切な情報発信が実施されますことを期待しています。

会員の皆様には、会費納入をはじめ、法人からの依頼や要請事項につきましては、速やかに対応いただき、法人の事業が迅速かつ円滑に展開できますことを強く望みます。

第3号議案 休会規程承認の件

一般社団法人 鳥取県作業療法士会

休会規程(案)

平成26年 5月25日

(目的)

第1条 この規程は、この法人の正会員の特例としての休会に関し必要な事項を定めるものとする。

(休会理由)

第2条 正会員は、次の各号の理由により休会することができる。

- (1) 出産・育児、介護
- (2) 長期の病気療養
- (3) その他理事会において承認された理由

(期間)

第3条 休会期間は、1年度単位とし、理事会において休会が承認された日の属する年度の4月1日から3月31日までとする。

(条件)

第4条 正会員は、次の各号の条件を満たし、毎年4月1日から5月31日までの間に開催される理事会において承認を得ることによって4月1日に遡って休会することができる。

- (1) 休会届(別記第6号様式)に必要な事項を記入し、休会しようとする年度の前年度の3月31日までに会長に提出すること
- (2) 日本作業療法士協会が発行した休会証明書の写しを前号の届に添付すること。但し、前号の届出時点で休会証明書の提出が間に合わない場合は、休会証明書を受取した後に速やかに提出すること
- (3) 休会しようとする年度の前年度までの会費が完納されていること

(義務の免除)

第5条 休会する正会員は、理事会によって承認された休会期間の会費納入が免除される。

(権利等の停止)

第6条 休会する正会員は、次の各号の権利が停止される。

- (1) 社員総会での議決権
- (2) この法人が主催する学会及び研修会への参加
- (3) 県士会ニュースや学会誌、その他この法人発行物の受取

(復会)

第7条 休会中の正会員は、第7条に規定する休会延長の手続きを行わない限り、翌年度から自動的に復会する。

(休会延長)

第8条 休会中の正会員で、引き続き翌年度も休会する者は、第4条の各号の手続きを行い、理事会で承認を得ることによって休会を延長することができる。

- 2 休会延長が理事会で承認されなかった場合、当該年度から自動的に復会する。

(規程の変更)

第9条 この規程は、社員総会の決議によって変更することができる。

この規程は、平成26年5月25日から施行する。

第4号議案 その他

報告事項 平成26年度事業計画及び予算

平成26年度事業計画

◎ 事務局

1. 本部事務局

1) 会議の開催

- ①理事会 第1回 平成26年 4月26日(土)
- 第2回 平成26年 7月19日(土)
- 第3回 平成26年 9月13日(土)
- 第4回 平成26年11月29日(土)
- 第5回 平成27年 1月17日(土)
- 第6回 平成27年 3月14日(土)

2) 会員管理事務

- ①会員の入退会管理(担当責任:中部地区副会長)
- ②会員の連絡網整備(電子メール連絡網更新)

3) 文書処理

4) 作業療法士に関連する全国組織との連携

①日本作業療法士協会

- i. 定時社員総会:平成26年5月31日(土) 東京 鳥取県代議員:松本太蔵、土肥繁樹
- ii. 日本作業療法士協会・都道府県作業療法士会連絡協議会合同役職者研修会
未定 東京 会長:松本太蔵
- iii. 会員情報システム管理 中部地区副会長
- iv. 日本作業療法士協会の現況調査入力
- v. その他

②都道府県作業療法士会連絡協議会

- i. 総会:平成26年6月1日(日) 東京 会長:松本 予定

③災害リハビリテーションコーディネーター研修会

研修等 未定 今後、他専門部へ移行検討

5) その他

2. 東部支部

1) 東部地区の会員管理事務

- ①入退会管理 ②名簿作成、中部支部へ提出 ③地区電子メール連絡網更新、本部事務局へ提出

2) 封筒作成

3. 中部支部

1) 中部地区の会員管理事務

- ①入退会管理 ②名簿作成 ③地区電子メール連絡網更新、本部事務局へ提出

2) 全域の会員管理事務

- ①全域の入退会管理、本部事務局へ提出
- ②全域の名簿作成、本部事務局・財務部・教育部・中部地区副会長へ提出
- ③地区電子メール連絡網更新、本部事務局へ提出

4. 西部支部

1) 西部地区の会員管理事務

①入退会管理 ②名簿作成・中部支部へ提出 ③地区電子メール連絡網更新、本部事務局へ提出

◎ 渉外部

1. 関係機関との渉外、連絡、調整に関わること
 - 1) 鳥取県社会福祉協議会との協力・連絡・調整
 - ①平成26年度介護専門研修事業 研修企画会議
 - 2) 特別支援教育への協力
 - ①会員、学校との連絡調整、実績集計
 - ②県教育委員会との連携（特別支援学校のセンター的機能充実事業）
 - 3) 日本作業療法士連盟 総会、研修会
 - 4) 国民のための医療推進協議会鳥取集会 総会
 - 5) その他

◎ 広報部

1. 士会ニュース発行
年4回発行（83～86号）
2. 広報資料の整備
 - 1) リーフレットの改訂
 - 2) パンフレット（日本作業療法士協会より取り寄せ）
 - 3) オペラ（日本作業療法士協会より取り寄せ）
 - 4) その他
3. 学校への啓発・広報活動
 - 1) 資料配布
 - ① 高校への配布（施設見学案内を含む）
 - ② 教育委員会・小学校・特別支援学校への配布（特別支援教育関係）
 - 2) 施設見学（東部、中部、西部の各地区の承諾施設で実施） 7～8月
4. 一般への啓発・広報活動
 - 1) 福祉機器展でのOTパンフレット等の配布（渉外部）
 - 2) 作業療法推進キャンペーン活動開催地（中部地区）
 - 3) その他、啓発・広報活動
5. 作業療法推進月間（8月）
 - 1) ポスターの配布（配布先：OT在籍施設、市町村役場、OT不在の病院・老健）
 - 2) オペラ18号の配布
6. ホームページ管理・更新
7. 日本作業療法士協会との連携（Web会議への参加）
8. その他

◎ 事業部

1. 第11回鳥取県作業療法学会
 - 1) 期 日：平成26年11月2日（日）
 - 2) 会 場：養和病院リハビリテーションセンター 地域交流ホール
 - 3) 主 題：未 定
 - 4) 特別講演：講師 土井 勝 幸 氏（一般社団法人日本作業療法士協会 生活行為向上マネジメントプロジェクト委員 担当理事）
 - 5) 役 割：学 会 長 横 野 洋 子（仁風荘）
実 行 委 員 長 土 井 宣 幸（はまかぜ）
副実行委員長 足 立 直 也（博愛病院）
2. 第12回鳥取県作業療法学会
 - 1) 学会長、実行委員長、副実行委員長の推薦
 - 2) 担当：東・中部地区

3. 生活行為向上マネジメント研修会
 - 1) 期日：詳細は今後調整
 - 2) 会場：
 - 3) 内容：
4. 生活行為向上マネジメント全国推進会議
 - 1) 期日：平成26年5月24日(土)・25日(日)
 - 2) 会場：東京都台東区秋葉原 秋葉原ビジネスセンター
 - 3) 出席者：土井 宣幸(はまかぜ)
5. 生活行為向上マネジメント研修会(小勉強会)
 - 1) 西部地区開催
 - ①期日：年3回の開催予定
 - ②会場：
 - ③内容：
 - 2) 東・中部地区開催
 - ①期日：年3回の開催予定
 - ②会場：
 - ③内容：
6. 中国ブロック生活行為向上マネジメント研修会 in 広島
 - 1) 期日：平成26年7月12日(土) 13日(日)
 - 2) 会場：広島市中区東白島町 国保会館
 - 3) 内容：
 - 4) 講師：吉川 ひろみ 氏(県立広島大学)
 荻山 和生 氏(佛教大学)
 小林 隆司 氏(吉備国際大学)
 - 5) 役割：各県士会より2名実行委員選出
 土井 宣幸(はまかぜ)
 鬼木 徳子(やわらぎ)
7. 訪問リハビリテーション実務者研修会
 - 1) 期日：詳細は今後調整
 - 2) 会場：
 - 3) 内容：
8. 訪問リハ地域リーダー会議
 - 1) 期日：平成26年5月16日(金)・17日(土)
 - 2) 会場：東京都江東区青梅 タイム24ビル
 - 3) 出席者：松本 太蔵(養和病院)
9. 訪問リハビリテーションフォーラム2014
 - 1) 期日：平成26年5月18日(日)
 - 2) 会場：東京都江東区有明 東京ビッグサイト
 - 3) 出席者：松本 太蔵(養和病院)

◎ 学術部

1. テーマ別勉強会実施
 - 1) 東部地区 1テーマ 全般
 - 2) 中部地区 2テーマ 中部合同、精神科
 - 3) 西部地区 5テーマ 作業を考える、CVA、福祉用具・住環境、精神科、治療演習・ADL
2. 研修会支援事業

テーマ別勉強会の中部地区精神科作業療法より申請あり

◎ 教育部

1. 生涯教育制度に関する管理

- 1) ホームページ「生涯教育制度について」更新
- 2) 生涯教育履修状況の管理－生涯教育履修リスト更新
- 3) 基礎研修ポイント管理・発行
 - ①協会よりポイントシール受領・返却
 - ②士会裁量基礎研修ポイント集計・発行
 - ③現職者共通研修修了ポイント発行
 - ④現職者選択研修会ポイント発行
 - ⑤鳥取県作業療法学会ポイント発行
 - ⑥基礎研修会（士会主催及び共催）ポイント発行
 - ⑦基礎研修ポイント申請の受付・発行

2. 生涯教育制度に関する開催

1) 現職者共通研修会

期日と会場（予定）	区分	テ ー マ	講 師（予定）
①前期 7月27日(日) 会場：中部 倉吉未来中心	I	作業療法生涯教育概論	土 肥 繁 樹：渡辺病院
		職業倫理	長 田 貴 徳：尾崎病院
	III	保健・医療・福祉と地域支援	長 谷 川 徹：はまなす
		作業療法における協業・後輩育成	田 住 秀 之：YMC A米子
②後期 10月26日(日) 会場：東部 鳥取医療センター	II	作業療法の可能性	早 川 泰 詞：山陰労災病院
		事例報告と事例研究	花 倉 敏 文：養和病院
	IV	日本と世界の作業療法の動向	未 定
		実践のための作業療法研究	松 本 太 蔵：養和病院

3. 生涯教育に関する研修会等の認定

- 1) 現職者共通研修「事例報告」「事例検討」認定（テーマ別勉強会教育部員が「事例報告会認定申請」を行い、教育部長が受理・認定）
- 2) 基礎研修会認定（テーマ別勉強会教育部員が申請を行い、教育部長が受理・士会主催認定）
- 3) S I G等登録認定（S I Gとして認定を希望する団体を会員が申請し教育部長が受理・認定）
4. 日本作業療法士協会の生涯教育制度推進担当者
 - 1) 生涯教育制度推進委員会への出席
5. 会員への情報伝達
 - 1) 県士会ニュースへの掲載
 - 2) ホームページへの掲載
 - 3) メール配信（特定会員向け）
6. 他部との連携・協力
 - 1) 学術部：テーマ別勉強会、基礎研修会、ポイント発行など
 - 2) 事業部：現職者選択研修会、鳥取県作業療法学会など
 - 3) 事務局：会員管理事務など

◎ 領域別対策部

1. 現職者選択研修（身体障害領域）
 - 1) 期日：詳細は今後調整
 - 2) 会場：
 - 3) 内容：
2. 情報配信

◎ 財務部

1. 会費徴収について
 - 1) 会費徴収
 - 2) 未納会員への督促
2. ボランティア保険加入手続き
県士会事業に関わる会員のみ加入手続きを行う

3. 予算事務に関する特記事項

1) 事務局

①税金として 81,000 円を計上する

2) 渉外部

①県教育委員会訪問旅費として 2,000 円を計上する

②鳥取県国民医療推進協議会総会旅費として 500 円を計上する

3) 事業部

①第 1 1 回県学会費 553,500 円、第 1 2 回県学会費 7,800 円を計上する

②生活行為向上マネジメント研修費として 312,660 円を計上する

③訪問リハ費として 181,840 円を計上する

4) 学術部

①勉強会活動費として 160,000 円を計上する

②研修会支援費として 50,000 円を計上する

5) 領域対策部

①現職者選択研修（身体障害領域）費 211,000 円を計上する

6) 財務部

①ボランティア保険は県士会事業に関わる会員のみ加入手続きを行う

◎ 規約委員会

1. 委員

委員長：土井宣幸（はまかぜ）

副委員長：山下大輔（養和病院）

委員：廣江理沙（博愛病院）、土肥繁樹（サマーハウス）

2. 委員会開催（年 2 回以上開催予定）

施行則・規程について適宜、改正（案）作成

3. 相談・問合せへの対応

4. 各部局・委員会との連携

◎ 倫理委員会

1. 現職者共通研修会「職業倫理」の講義

2. 相談への対応

3. 一般社団法人日本作業療法士協会との連携

◎ 総会議事運営委員会

1. 定時社員総会の運営

1) 期日：平成 26 年 5 月 25 日（日）

2) 会場：アゼリアホール（倉吉市山根）

2. 書類の作成

1) 平成 26 年度事業報告書

2) 平成 27 年度事業計画書

平成26年度事業予算書

自 平成26年4月 1日
至 平成27年3月31日

勘定科目		備 考	
大科目	予算額	小科目	金額
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	2,010,000	年会費	2,010,000
			5,000円×402名
研修会収入	338,000	第11回県学会	28,000
			2,000円×140名
		現職者共通研修	80,000
			1,000円×80名
		現職者選択研修	120,000
		2,000円×40名、4,000円×10名	
		生活行為向上	100,000
			2,000円×50名
		テーマ別勉強会	10,000
			1,000×10名 中部精神科
補助金等の収入	20,000	活動費	20,000
			日本作業療法士協会
		助成金	0
		賛助費	0
雑収入	1,000	雑収入	1,000
			預金利息
事業活動収入合計(A)	2,369,000		

2. 事業活動支出																
(1) 管理運営部門																
	予算額	中項目	金額	小項目	金額	備考										
事務局	503,000	事務費	69,920	事務用品費	24,920	会長名刺印刷費、ファイル、コピー用紙										
				通信費	10,000	発送、切手代、振り込み手数料等										
				封筒作成費	35,000	角2封筒1,500枚										
		会場費	9,000	会場費	9,000		理事会6回 施設利用費(＠1,500円×6回)									
							理事会6回分 123,000円 (東部@3,000円×3名×6回、中部@1,500円×4名×6回、西部@500円×11名×6回)									
		役員費	307,080	旅費	307,080		日本作業療法士協会総会 10,000円(日当5,000円×1日×2名)									
							日作協研修会:東京2日間 89,540円(日当5,000円×2日×1名、宿泊費10,000円×1泊×1名、交通費69,540円)									
							都道府県OT連絡会議総会:横浜84,540円(日当5,000円×1日×1名、宿泊費10,000円×1泊×1名交通費69,540円)									
		需用費	6,000	茶菓子代	6,000	理事会6回×@1,000円										
		税金	81,000	法人県民税	21,000											
		法人市民税	60,000													
		年会費	20,000	都道府県作業療法士会連絡会議												
		慶弔費	10,000	電報(祝電)等												
規約委員会	16,000	事務費	1,400	事務用品費	1,000	資料ファイル4冊										
				通信費	400											
				旅費	9,000	(500円×3名+3,000円×1名)×2回										
倫理委員会	9,000	事務費	3,000	事務用品費	2,000	ファイル、コピー用紙等の用紙、USB、その他必要な事務用品										
				通信費	1,000	切手、送料、電話料金										
				事業費	6,000	職業倫理に関する書籍等										
総会議事運営委員会	20,000	事務費	2,000	事務用品費	1,000											
				通信費	1,000											
				会場費	18,000	総会会場費(会場代、備品使用代)										
(2) 事業費支出																
渉外部	26,000	事務費	1,700	事務用品費	700	資料ファイル										
				通信費	1,000	テレフォンカード										
		役員費	21,300	旅費	21,300		日本作業療法士連盟総会・研修会:大阪18,800円									
							県教育委員会訪問2,000円(500円×1名、1,500円×1名)									
広報部	307,000	事務費	66,600	事務用品費	2,600	鳥取県国民医療推進協議会総会500円										
				通信費	64,000	日本作業療法士連盟研修会費										
				印刷費	145,000	印刷費	145,000	ニュース事務費1,300円、ホームページ事務費1,300円 ニュース送料・資料取り寄せ費63,000円、ホームページ通信費1,000円 ニュース印刷費80,000円 リーフレット作成費(1,000枚)65,000円								
		ホームページ費	59,000	管理費	48,000	作成費	11,000									
									役員費	27,800	旅費	27,800	啓発キャンペーン12,600円:事前編現場検証打合せ500円×2名、打合せ1,500円×2名+500円×2名+1,200円×3名、当日スタッフ500円×8名 広報部担当者打合せ交通費15,200円:(1,500円×2名+500円×2名+1,200円×3名)×2回			
		需用費	8,600	食糧費	5,600	茶菓子代	3,000	啓発キャンペーンスタッフ弁当代700円×8名 啓発キャンペーン打合せお菓子代1,000円 広報部担当者打合せお菓子代2,000円(1,000円×2回)								
									事業部	1,059,000	事務費	3,200	事務用品費	1,700		
		通信費	1,500													
		第11回県学会	553,500	講師費	136,100	会場費	50,600	特別講演 報償費 36,000円								
								印刷製本運搬費	190,000		旅費 98,600円(米子⇄仙台 交通費88,600円+宿泊費10,000円)					
会議費	5,000							学術集会 旅費 1,500円(500円×3)								
事務費	55,000							会場費 30,600円								
役員費	60,500							需用費	49,300		会場関連費 20,000円					
											予備費	7,000	プログラム印刷代 40,000円			
第12回県学会	7,800							講師費	136,840		会場費	38,500	学会誌印刷製本 150,000円(送料込)			
													印刷製本費	25,000	講師打合せ会場費 5,000円	
										会議費			5,000	事務費 12,000円		
										事務費			2,000	通信費 43,000円		
		役員費	51,000	需用費	19,700	委員旅費 50,000円(500円×10名×10回)										
						負担金	30,000			担当旅費 10,500円(500円×21名)						
		生活行為向上研修	312,660	講師費	136,840	会場費	38,500			講師等用茶菓子 7,000円(1,000円、1,000円、5,000円)						
										印刷製本費			25,000	講師・座長昼食 4,000円(1,000円×4名 講師1、座長3)		
										会議費			5,000	役員3名昼食 3,000円(1,000円×3名 会長、学会長、実長)		
										事務費			2,000	委員・担当昼食 19,600円(700円×28名)		
役員費	51,000							需用費	19,700	委員茶菓子代 8,000円(1,000円×8回)						
										予備費	4,620	委員前日夕食 7,700円(700円×11名)				
訪問リハ	181,840							講師費	136,840	会場費	38,500	委員交通費 7,800円(500円×2回×3名、1,200円×2回×2名)				
												印刷製本費	25,000	全体研修:報償費 60,000円、旅費76,840円(東京⇄米子 交通費66,840円+宿泊費10,000円)		
												会議費	5,000	全体研修:25,000円		
												事務費	2,000	地域別研修:13,500円		
		役員費	51,000	需用費	19,700	全体研修:10,000円										
						負担金	30,000					地域別研修:15,000円				
		学術部	212,000	事務費	2,000	印刷製本費	25,000					全体研修:講師打合せ会場費 5,000円				
												会議費	5,000	全体研修:事務費、通信費1,000円		
												事務費	2,000	地域別研修:事務費、通信費1,000円		
												役員費	51,000	需用費	19,700	全体研修:20,000円(500円×5名×3回、3,000円×1名×3回、1,500円×1名×2回、500円×1名×1回)
予備費	4,620							地域別研修:21,000円(500円×5名×3回、1,500円×3名×3回)								
学術部	212,000							事務費	2,000	印刷製本費	25,000	全国推進会議:日当10,000円(1,000円×2日×1名)				
												会議費	5,000	全体研修:講師昼食 1,000円		
												事務費	2,000	全体研修:役員昼食 2,000円(1,000円×2名)		
												役員費	51,000	需用費	19,700	全体研修:委員昼食 4,200円(700円×6名)
																負担金
		学術部	212,000	事務費	2,000	印刷製本費	25,000					全体研修:講師茶菓子代 6,000円(1,000円、5,000円)				
												会議費	5,000	全体研修:委員茶菓子代3,000円(1,000円×3回)		
												事務費	2,000	中国ブロック生活行為向上マネジメント研修会in広島		
												役員費	51,000	需用費	19,700	訪問リハ地域リーダー育成:86,840円(旅費 東京⇄米子 交通費66,840円、宿泊費10,000円、日当10,000円(5,000円×2日×1人))
																予備費
学術部	212,000							事務費	2,000	印刷製本費	25,000	訪問リハビリテーション地域振興会年会費				
												会議費	5,000			
												事務費	2,000			
学術部	212,000							事務費	2,000	印刷製本費	25,000	高額研修への支援金(中部精神科)				
												会議費	5,000			
		事務費	2,000													

教育部	189,000	事務費	7,800	事務用品費 通信運搬費	3,000 4,800	事務用ファイル 振込み料金 220円×10、切手130円×20	
		講師費	143,400	報償費	120,000	現職者共通研修講師48,000円(6,000円×8名) 事例報告指導72,000円(6,000円×12名)	
				旅費	23,400	現職者共通研修 17,400円(前期1,200円×2名、1,500円×2名、後期3,000円×4名) 事例報告 6,000円(500円×12名)	
		会場費	30,000	会場費	30,000	現職者共通研修 前期15,000円、後期15,000円	
		役務費	7,800	旅費	7,800	現職者共通研修(500円×2名、1,200円×2) 現職東部3,400円(500円×2名、1,200円×2名)、県学会1,000円(500円×2名)	
領域対策部	213,000	事務費	2,000	事務用品費 通信費	1,000 1,000	ファイル×2	
		現職者選択研修	211,000	講師費	125,840	報償費 県外36,000円 県内12,000円(6,000円×2名) 旅費77,840円(県外講師 東京⇄米子 交通費 66,840円 宿泊費10,000円 県内講師 500円×2名)	
				会場費	20,000	会場費	
				印刷製本費	5,000		
				会議費	5,000	講師打合せ会場費	
				事務費	1,000		
				役務費	25,000	役員10名 委員会回数5回	
				需用費	24,300	講師昼食	3,000円
						役員昼食	1,000円
		予備費	4,860	委員昼食	6,300円(700円×9名)		
事務用品費	5,700	前日夕食	7,000円(700円×10名)				
通信費	10,000	講師茶菓子・飲み物	7,000円				
財務部	258,000	事務費	20,700	事務用品費 通信費 利用料	5,700 10,000 5,000	会計ソフト年間利用料	
		役務費	28,500	旅費	28,500	監査3,000円×1名 500円×4名、総会会費受付1,500円×4名、財務部業務500円×2名×10回、税理士相談時500円×6回、納税500円×6回、県学会500円×3名	
		需用費	4,500	食糧費	3,500	700円×5名	
		相談費	60,000	茶菓子代	1,000		
		保険費	144,300	保険費	144,300	800円×180名(理事16名、監事2名、事務局11名、倫理委員会2名、総会議事運営委員会2名、渉外部4名、広報部66名、事業部37名、学術部16名、教育部10名、領域対策部10名、財務部4名)、手数料300円(30円×10回)	
		事業活動支出計 (B)	2,812,000				
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	△ 443,000						

(単位:円)

勘定科目	予算額	小科目	備考
中 科 目			
Ⅱ 投資活動収支の部			
1.投資活動収入			
啓発グッズ等積立預金取崩収入	0		
投資活動収入計 (D)	0		
2.投資活動支出			
啓発グッズ等積立預金取得支出	50,000		郵便振替預金内にて管理
投資活動支出計 (E)	50,000		
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	△ 50,000		
Ⅲ 予備費支出 (G)	200,000		
当期収支差額(H)=(C)+(F)-(G)	△ 693,000		
前期繰越収支差額 (I)	1,167,925		
次期繰越収支差額(J)=(H)+(I)	474,925		